

平成24年度事業計画

1 自然再生活動

(1) ボランティアによる自然再生活動

日時	内容	募集人員
7月7日	山取苗の採取、仮植及び植栽 ブナ遺伝資源保存林散策	20人
9月1日	山取苗の採取、仮植及び植栽 くろくまの滝散策	20人
9月8日	山取苗の採取、植栽 くろくまの滝散策	「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」

(2) モニタリング調査

抜き伐り箇所の子木の発生・生育状況を調査する。

(3) 種子による苗木生産について

白神山地周辺地域の自然再生活動の植栽には、遺伝子攪乱を防ぐためできるだけ直近で採取した種子から育苗した苗木を使っていきたいと考えている。

このことから、23年度、試験的に自然再生活動拠点箇所2（2039ら林小班）周辺で採取した、オニグルミの種子90個、サワグルミ9房、トチノキの種子を90個を林地に23年10月13日に播種した。（6月15日現在、トチノキ5本が確認された。）

本年度は、抜き伐り箇所周辺で種子を採取し、林地やプランター等に播種し、種子から苗木を生産できるような仕組みを確立できるよう実施する。

(4) 暗門川の地域について

22年度、赤石川下流において抜き伐りを実施し、ボランティア活動や森林環境教育の場、また、広葉樹林化を進める上での施業技術確立の一助となるよう調査を行っている。

一方、暗門川の自然再生箇所へは間伐の時期を迎えている林分が多く、自然再生活動の箇所も23年度に樹立された第4次国有林野施業実施計画の伐採計画に指定された。このようなことから、白神山地における自然再生活動を広く知ってもらうため、また赤石溪流と同様な活動を暗門川方面でも取り組むこととしたい。

対象となる箇所は、アクアビレッジ暗門から白神ラインを津軽峠へ向かい約2km（図-1）180林班い4小班とい5小班である。林況から「い4小班」については広葉樹割合が多いことから、広葉樹の生育に妨げになる木を伐採、「い5小班」（図-2）については列状間伐（図-3）で実施することを考えている。

スケジュールは、本年度収穫調査を行い、25年度以降津軽森林管理署で生産請負で抜き伐りを実行する予定である。

伐採後は、定点を設定し広葉樹の発生・生育状況を経過観察しながら、植栽、下刈りなどを実施していく予定である。

自然再生活動の予定箇所

林小班	マップ番号	面積 (ha)	樹種	林齢	抜き伐り
180 い 4	14	15.1	スギ	44	広葉樹の生育に支障となる林木の伐採
い 5	13	15.4	スギ	44	列状間伐

- (5) ボランティア団体等が実施する自然再生活動（植樹・育成等）において、技術安全指導等で支援する。

2 森林環境教育

(1) 森林教室、体験林業

	参加人数等	場 所	作業内容
9月5日	舞戸小学校4年生 56名	2057ぬ1林小班	植栽 くろくまの滝散策
9月6日	西海小学校5年生 21名	2057ぬ2林小班	植栽 くろくまの滝散策

*雨天等の場合は、当センター庁舎内等において森林教室や丸太切りなどを行う。

(2) 自然観察会

イベント名	日時	場所	募集人員
「早春の花々が咲き誇る湖沼群を巡り日本キャニオンを観る」	5月26日	深浦町十二湖	30名
「初夏の花の湿原で植物・野鳥観察とヒバ巨木に触れる」	6月16日	つがる市ベンセ湿原、五所川原市金木町	20名
「ブナ巨木とふれあいながらの森林浴と世界遺産内の瀑布を巡る」	7月21日	西目屋村	20名
「紅葉のブナ林散策と名瀑・赤石溪流を散策」	10月17日 10月20日	鱒ヶ沢町 *10月17日は会員限定	20名

3 NPO等との連携

美化清掃活動など各種活動に積極的に参加・支援し、互いに情報交換しながら信頼と連携の向上を図る。

4 森林生態系保護地域の保全活動

- (1) 津軽森林管理署をはじめボランティア巡視員、グリーン・サポート・スタッフと連携した巡視活動を実施する。

(2) 白神山地遺産地域連絡会議と連携した合同パトロールやマナー向上パンフの配布などを実施する。

5 希少動植物の保護

(1) クマゲラの生態調査

クマゲラの生息確認と営巣・ねぐら木を撮影し、繁殖活動等を記録する。

確認後は監視カメラ等により営巣・ねぐら木を撮影し、繁殖活動等を記録する。

(2) センサーカメラによる動物生息調査の実施

自然再生モデル林、自然再生活動箇所を設置し、調査記録する。

(3) 地域内固有種、希少種の植生状況確認

シラガミクワガタ、ツガルミセバヤ、トガクシショウマなどの植生状況調査を行う。

6 森林病虫害防止対策

(1) 松くい虫、ナラ枯れ防止対策

早期発見と速やかな対応を行うため、巡視活動の実施や関係機関との連携を図り、被害を防止する。

(2) ブナ葉食害等

一昨年、ブナ葉の食害が見られたことから、巡視活動を行うとともに、巡視員等との連携を図っていく。

著しい食害が発見された場合は、虫を捕獲又は写真撮影などの現地調査を行い、研究機関に依頼し、対応策等を講じる。

7 PR活動

(1) 広報誌の発行、HP

広報誌「津軽白神ふれあい通信」を毎月発刊し、関係機関等へ郵送し、情報発信を行うするとともに、HPに掲載する。

(2) 活動展の開催

当ふれあいセンターの活動をPRするため、2月から3月にかけて、青森市、つがる市において活動展を開催する。

位置図(180林班)

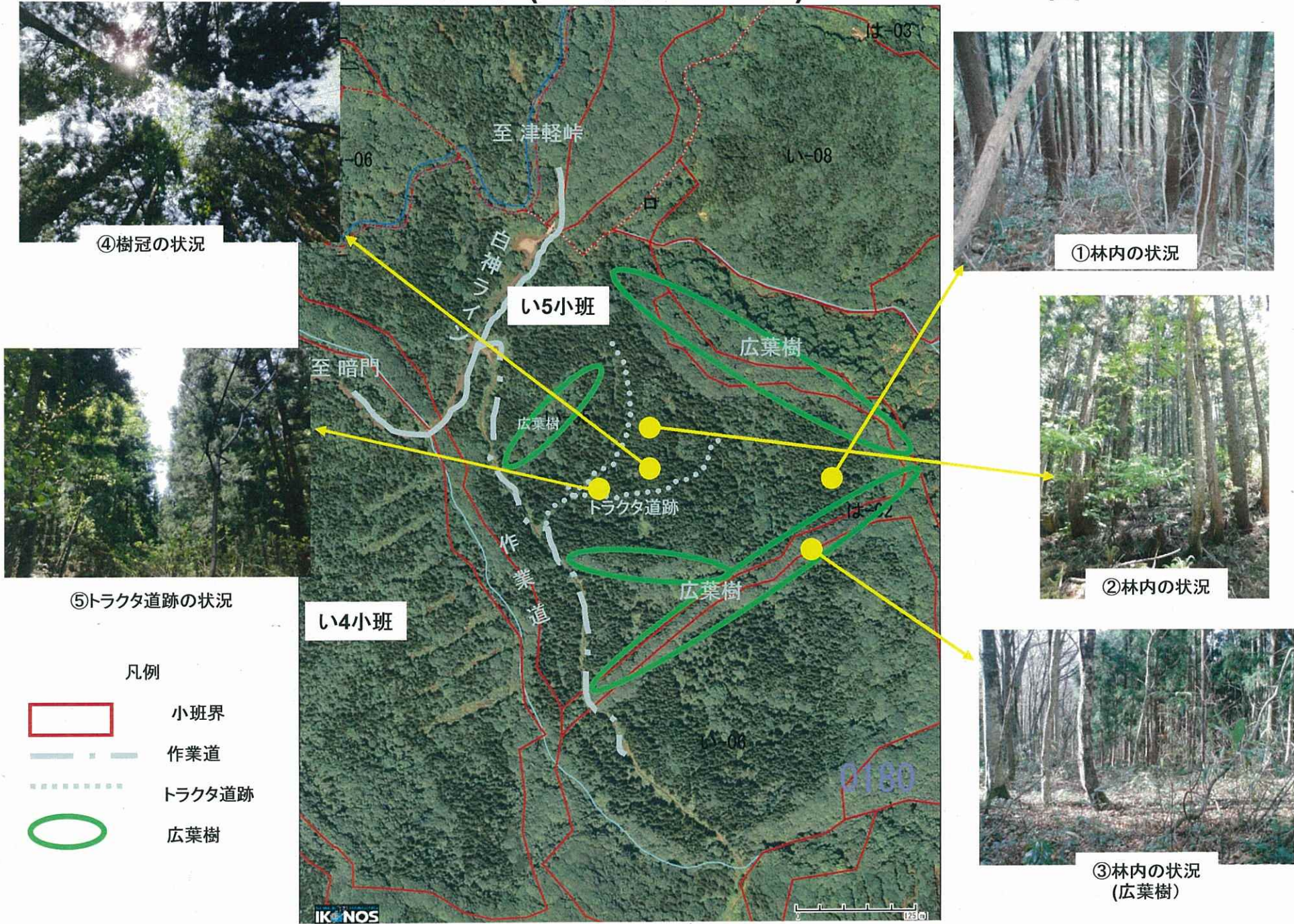
至 岩崎

図-1

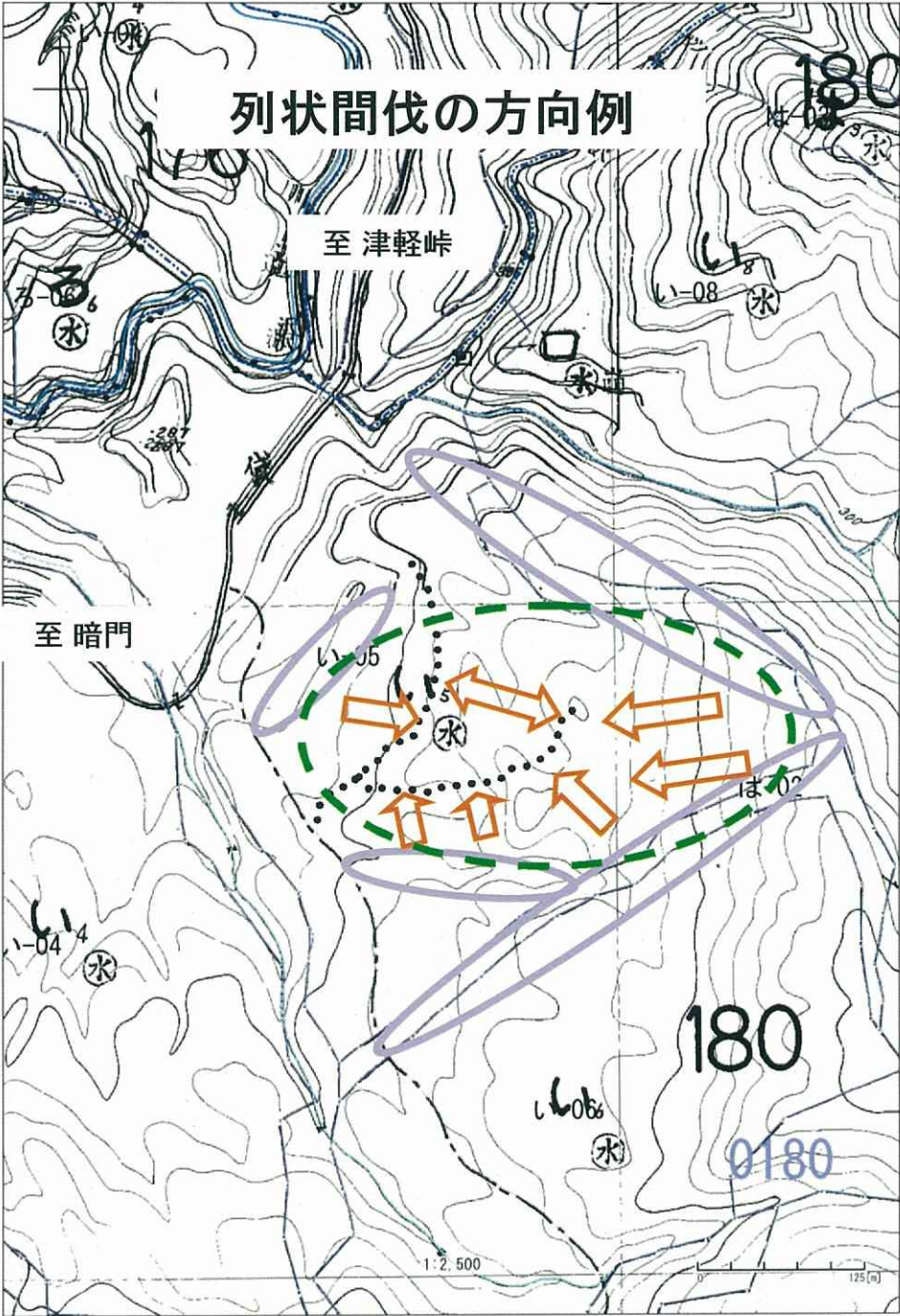


林況(180林班い5小班)




図-2



図一3



凡例

-  間伐の方向
-  トラクタ道跡
-  広葉樹